

はじめに

本号は2005年6月25日に行われた第28回専修大学「地域と大学を結ぶセミナー」の内容を各報告者にまとめていただいたものである。廣石の基調講演に続き、工代、中島両氏による報告が行われ、パネルディスカッションで幕を閉じたセミナーであった。本号ではパネルディスカッションについては紙幅の関係で省略したが、その代わりにパネルディスカッションで明らかになった点を末尾に簡単にまとめた。

事例報告ではリクルート、ギャップジャパンという伝統的な日本企業とはかなり風土が異なる企業を取り上げたため、通常の日本企業で参考になるだろうかという質問もセミナー出席者から聞かれた。たしかにそうみえる面は否定できないが、これからの日本企業の方向性を占う意味では、先駆的な企業ともみることができる。日本企業の人事が今後どのように展開されるのか、予断を許さないが、おそらく両社の試みは他社においても注目すべき施策と評価されるものと考えている。

なお、内容はセミナー当日現在のものである。その後中島豊氏はギャップジャパンを離れ、楽天株式会社に入社されたが、読者におかれてはこの点をご了解頂きたい。

最後に、ご多忙の中本学のためにご出講いただいた工代、中島の両氏には心からの謝意を捧げる次第である。

2005年11月

専修大学 経営学部長 魚田 勝臣
第28回「地域と大学を結ぶセミナー」委員会
委員長 廣石 忠司（専修大学経営学部教授）